

武蔵小杉の暮らしを、 もっとカラフルに。

昨日までよりも、心地よく。

今までよりも、ちょっと便利に。

毎日の暮らしに、必要なものや役立つものがそろい、

ちょっと「寄り道」するような感覚で気軽に楽しめる

武蔵小杉東急スクエアがこの春、グランドオープン。

私たちは、みなさまの「うれしい」や「楽しい」という気持ちを

この場所で、大きく育んでいきたいと考えています。

どうぞ、ご期待ください。

2013年4月2日(火) 武蔵小杉東急スクエア OPEN!



こすぎの風

WIND from Musashikosugi

武蔵小杉へようこそ

あの人に会いたい!

武蔵小杉にゆかりのある方たちにお話を聞く「あの人に会いたい」。

第2回目は、映画監督の佐々部清さんです。

現在は新作映画に取りかかってフル回転の佐々部監督。

お忙しい直前にお話を頂戴しました。

地元を見つめるそのまなざしは、厳しくも温かいものでした。

新駅が出来て武蔵小杉は格段に便利になりましたね



第2回

佐々部清さんインタビュー

—監督は下関ご出身で、映画では「下関三部作」と呼ばれる作品も撮られています。監督にとって「ふるさと」とはどんな場所ですか?

「映画監督になる前は、下関という街は好きじゃなかったですね。早くこんなところ出ていきたいと思うような場所だったんです。ですがドラマの仕事で撮影場所をあちこち探しているとね、ああこの場所はいいなあと思うところって、じつは僕が過ごした下関の街並みによく似ているんですよ。そういう風景を自分はじつは求めているんだというのが、いまの仕事に就いてはじめて解ったんですね。それで監督になったら、自分の原風景をきちっと切り取る映画を撮りたいなと思って、オリジナルで『チルソクの夏』(※2004年公開。下関三部作の第一作目)を撮りました。この映画は地元の皆さんがとても熱心に応援してくれて、ほんとううれしかったです。自分が育って過ごした場所というのは、原風景としてきちんと自分の中にもあったんだと、気づかされましたね」

—地域の活動やイベントについて何かお考えはありますか?

「以前NHKで、この再開発地域に関する活動やイベントについての放送を見まして、いろいろな取り組みがあって、熱心にやられている方たちがいることを知りました。一方でそういう活動やイベントにたいして消極的というか求めている人たちがいますね。是非、そういう人たちともバランスを取り合って進めていって欲しいと思います」

インタビュー：保崎 幸一 (元NPOエリアマネジメント理事)
文／構成：九 龍文 (ライター)
誌面デザイン／撮影：本平 基 (デザイナー・フォトグラファー)
2012年12月30日インタビュー収録

ることが多いんです。そこで見ていると、あまりに信号を守らない大人が多すぎます。たしかに交通量が少ないのは解りますが、子どもが目の前に立っていても、赤信号でも構わずに平気で渡っていくんですよ。

そういうのを見ると、「こういう人たちって、きっと自分たちのマンションのルールも平気で破ってマナーも気にしないんだろうな」と想像してしまうんです。

それから、社会の基本的なマナーである挨拶をしない大人も多い。自宅のあるマンションのエレベータでは、こちらから挨拶するようにしています。女性の方や子どもはだいたい「こんにちは」と知らないオジサンにでも返してくれますが、僕と同世代かやや下の中高年のサラリーマンはダメだなあ。携帯いじって知らん顔。

そんな風景を見るにつけ、地域を盛り上げるイベントも大事ですけど、大人としての基本的なコミュニケーションをとるとか、基本的なルールの順守をうたうとか、そういう取り組みもより大事だと思いますよ」

—子どもに「見られている」という意識のない大人が多いということなんでしょうか。さて、小杉の再開発地区の子どもたちもずいぶん増えてきました。地方ご出身者の目線から見た、都会の子どもたちってどう映りますか?

「うーん、子どもたちというより、その親のほうに目が行っちゃうんです。たとえば子どもたちがソファの上に土足で上がっていても、親たちは叱りもしない。子どもはね、そういうことしても仕方ないと思う。でも親はそれを看過しちゃいけない。

それでこの子どもたちはどう育っていくんだろうか。昔は僕らがそんなことしたら、すぐに引叩かれましたよ。当の親たちは、お互いにエレベータの前で、他人の邪魔になるのも気がつかずすっつしゃべっている」

—武蔵小杉に住まれてどのくらいになりますか?

「もうかれこれ15年くらいになりますね。最初は等々力スタジアムの付近に住んでいましたよ。それからいったん新丸子に引っ越ししました。そのうち子どもが大きくなって新しい間取りがほしくなったんで、再開発がはじまっていた武蔵小杉で物件を見に行っただけです。はじめは冷やかしか半分だったんですが、女房が気に入らしてね、いま住んでいる場所に決めました。

もともと彼女は横浜出身でしてね、結婚当初は横浜に住もうかという話もあったんですが、それだと撮影所とか僕の職場に通うのが遠いので、じゃあ中間地点ということで武蔵小杉にしたんです」

—住んでみて、武蔵小杉にはどんな魅力がありましたか?

「いやあこんなこと言っちゃうと怒られちゃうけど、僕からすると魅力ってあんまりないんだよね(笑)。

でも、仕事柄僕はあちこち飛び回ることが多いもので、武蔵小杉にJRの新駅ができてからは格段に便利になって、ここに引っ越してきてよかったなあと思っています。スタッフからは『監督、先見の明がありましたね』と言われてますよ(笑)」

—監督ご自身、まちづくりあるいは地域コミュニティといったものには、ご関心はありますか?

「僕はサラリーマンじゃないし、平気で2か月くらい家を空けることもあるので、正直地域コミュニティのイベントやサークルには参加はなかなか難しいです。女房は『フラワーアレンジメント教室』(※3年前よりエリマネにて開催)に最初から毎回通っていますよ。コミュニティの話とちょっとズレますが、僕は武蔵小杉新駅ロータリーの横の交差点を通

さ さ べ き よ し 佐々部 清

映画監督

佐々部清(ささべきよし)1958年1月8日、山口県下関市生まれ。明治大学文学部演劇科、横浜放送映画専門学校(現・日本映画大学)を経て、'83年より映画及びテレビドラマの助監督となる。主に崔洋一、和泉聖治、杉田成道、降旗康男などの監督に師事。デビュー作『陽はまた昇る』で石原裕次郎賞と日本アカデミー賞優秀作品賞、『チルソクの夏』で日本映画監督協会新人賞と新藤兼人賞、『半落ち』で石原裕次郎賞と日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞。『カーテンコール』と『夕風の街 桜の国』は日本映画批評家大賞作品賞を受賞している。現在、新作「東京難民」(秋公開予定)に取り組んでいる。



インタビュー風景

再開発地域における防災取り組みの第一歩『コスギぼうさいフェス』開催!



さる2月23日(土)、各マンション管理組合とNPO エリマネ防災ワーキンググループ(以下防災WG)にて、この地域の防災を考えるイベント『コスギぼうさいフェス』を開催致しました。このイベントは、東日本大震災から2年が経過して、まだまだ新たな震災の懸念も増す中、改めてこの地域の防災について考える機会を作りたいという趣旨で企画いたしました。しかし、ただ考える機会をもつ、防災に必要な知識を得るというだけではつまらないので、できるだけご家族みんなが参加できる、楽しいイベントになればとの思いを込めました。

第一部：各マンションでの防災訓練

イベントは第一部と第二部に分けました。第一部では午前10時を発災時間として、各マンションでそれぞれ今必要な防災への取り組みを行っていただきました。防災訓練を行ったマンション、住民の方々に向けたセミナーを開催したマンション、この機会に防災備品を確認したマンション・・・それぞれ今行える防災への取り組みとは何かを考え、議論された上で取り組んでいただきました。



避難訓練(レジデンス・ザ・武蔵小杉)



セミナー風景(パークシティ武蔵小杉MST)



防災訓練(パークシティ武蔵小杉SFT)

同じ時間に、防災WGも訓練を実施しました。昨年度この地域(マンション間)での緊急連絡手段として、NPOにて複数台のトランシーバーを導入しました。この機会に、再開発地域だけでなく広く通信状況を確認しました。北は上丸子八幡町、南は市立橋高校くらいの範囲で、広域災害時にお世話になることが予想される拠点をピックアップの上、NPO事務所の本部とつなぎ、通信訓練を実施しました。



防災WGの訓練風景①



防災WGの訓練風景②

トランシーバーによる通信訓練

尚、今回併せて近隣町会の方々の拠点でもトランシーバーによる通信訓練を実施しました。再開発地域のみならず、この地域全体で、緊急の通信インフラがどのように機能するかというデータを残し、近隣町会の方々とも共有することにより、災害時も混乱なく被害の最小化に貢献できればと考えます。

第二部：防災を考える各種イベント

午後からはいろいろな切り口から防災を考えるイベントを企画いたしました。中原消防署のご協力をいただきながら、住民目線で防災を考える講演会を実施しました。



消防署での講演
警防第1課長下山氏

中原消防署警防第1課長下山氏による防災講演の後、マンション管理士の廣田信子さんによる講演を行いました。廣田さんは浦安のマンションにお住まいで、東日本大震災では液化化現象によるライフラインの寸断を体験し、大変過酷な生活を強いられました。首都圏でも最大の被災地と言われた浦安での経験から、被災時に何が一番困ったか、発災時に役に立ったものとはなんだったか、また日頃からどういった備えが必要だと感じたか、住民目線での話をいただきました。川崎市ハザードマップでも当地域は液化化リスクが少なからずございます。浦安の経験が当地域の備えに繋がる部分も多く、大変貴重な気づきをもらいました。



消防署での講演-廣田さん



「ポータ震(ぶる)」



AEDの使い方をレクチャー



起震車による地震体験

講演終了後は中原消防署の皆様のご協力によるAEDの使い方レクチャーや起震車の体験、鹿島建設さまのご協力による直下型地震や長周期地震の揺れを再現できる振動台「ポータ震(ぶる)」の体験を行いました。大好評でした。



かえりペンクの様子



カエルののぼり旗



おもちゃコーナーの様子



並行してレジデンス・ザ・武蔵小杉の1Fスペースにて、NPO法人プラス・アーツの皆様と共に「イガ!カエルキャラバン!」を実施しました。同イベントは、いらなくなったおもちゃを持ち寄り、防災に関するワークショップに参加したりしながらポイントをため、欲しいおもちゃに交換するイベントです。防災ワークショップも単なる知識の植え付けではなく、自ら考えるタイプのワークショップでゲーム性もあり、楽しく参加していく内に防災への意識も高まっていく点が特徴です。



持ち出し品なおに?クイズ



家具転倒防止ワークショップ



防災カードゲーム



外では水消火器によるゲームやマンション対抗のパケツリを行いました



カエルキャラバン最後はおもちゃのオークションを行いました



テリド様のご協力により、防災グッズ・備蓄品の展示販売も行われました

午後からの短い時間にもかかわらず、多くのご家族にお集まりいただき、楽しく防災に触れていただきました。実際に災害が起こった際、大人は地域の外にすることがほとんどで、日中この地域にいる方々が力にならなければなりません。3.11での反省から発災後すぐには家に帰りにくくなる流れにあるなか、お子さんたちも含めて日頃から防災への意識を高めておくことは非常に有益になるものと感じます。

いかがでしたでしょうか。この「コスギぼうさいフェス」は、ほぼ全て地域住民の皆様・管理会社の皆様によるボランティアで運営いたしました。最初ということもあり、色々至らない点もあったかと思いますが、ご容赦いただけますと幸いです。最後にご協力をいただいた中原消防署様、鹿島建設株式会社様、レジデンス・ザ・武蔵小杉理事会の皆様、テリド様、並びに各マンションの理事会の皆様、防災委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。皆様のご協力により、このコスギぼうさいフェスも成功させることができました。当地域における防災への取り組みも、このコスギぼうさいフェスで第一歩を踏み出せました。こうした取り組みは地味ながらも継続していくことが一番大変で且つ重要であると感じています。今後とも皆様のご理解とご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年度 交流会ワーキンググループの活動報告



交流会ワーキンググループでは、親子向け、子供向けなど様々な事業を通じての地域との交流を目的に活動をしてきました。

川崎フロンターレとのスポーツイベント

親子向けの交流行事としてふるん太くん、ワルンタくんらと共に、食育教室とサッカー教室、パブリックビューイング、サッカー観戦、夜回りなどを精力的に実施してきました。特にふるん太くん、ワルンタくんは人気があり参加されたお子様がたはとても喜んでいました。また、K1で【闘うフリーター】として有名な所選手とボクササイズも実施しました。



男前料理教室、親子料理教室

こすぎ地域にお住まいの栄養士の先生をお迎えして、普段あまり料理をされていない方（男性、お子様）を対象に料理教室を実施しました。参加された方からは次回開催を望まれるほどでした。



川崎工場夜景クルージングツアー

冬の寒空に、眩く浮び上がる工場の夜景を楽しみました。定員 70 名のところに 300 名も応募があり、倍率はなんと4倍！



その他、ちょっと大人の交流会、ちょっと小さな交流会、こすぎナイトキャンパスなど対象を絞った交流活動も継続して実施しています。

周辺地域交流会を開催しました



去る10月13日、周辺地域交流会と題して会員マンションと地域町会をむすびイベントが行われました。この企画はエリマネにとってとても重要なイベントで、今回で2回目の開催となります。今回は、防災をキーワードに行政・近隣町会・商店街の方を招き、再開発地域の防災の取り組みを紹介し、地域防災をともに考える下地を作ることを目的としました。

第1部としてコスギタワーの防災設備の見学会、第2部はレジデンスで懇親会となりました。板橋中原区長、岩間上丸子小学校校長、森下中原消防署副所長をはじめ市役所、区役所の皆様、民生委員の方々、下沼部町内会、上丸子2丁目3丁目親和会、小杉駅前通り商店街、法政通り商店街の皆様など多くの方々との今後の取り組みについて楽しく語り、有意義な時間を過ごしました。また次回もいろいろな方面の方をお呼びして交流の輪を広げていければと思います。



「おしゃべり電話・おしゃべり相談」を開催しています



1986年から相談活動を行ってきました「かながわカウンセリング研究会」が、武蔵小杉に活動の拠点を移したのが2004年、そしてこの明るく気持ちのよいリフトプラザIIの部屋を使用させていただけるようになって5年目を迎えています。私たちは話すことで問題を整理したり、わだかまりに気づいたりし、その結果気持ちが楽になります。誰かが「自分のこと解っていてくれる」との実感が人を支え、そして解決への道を導き出すことにつながります。ぜひ訪ねて、おしゃべりしてみませんか。

- 開催日は? ————— 毎週火曜日 / 電話相談：10時～16時 / 面接相談：12時～16時
TEL：044-434-5498（開催日のみ）
- 話の内容は? ————— 秘密厳守です。お名前もこちらからは尋ねません。
- 料金は? ————— ボランティアグループの活動です。無料。
- どんな相談? ————— ①人生・生き方、②人間関係、③子育て不安、特にないけど日常の話など
- 担当者はどんな人? — 人生のベテラン（年だけでなく!）。心理学を学び続けています。
4名の担当者が心をこめてお話を聴き共に考えます。



【かながわカウンセリング研究会】

問合せ先 TEL：044-854-0693、044-711-5321

平成 19 年川崎市社会福祉協議会・平成 24 年神奈川県社会福祉協議会・ボランティア功勞の表彰授与

しゃぶしゃぶ **くりりん** すき焼き

厳選された和牛と自家製のタレは絶品です！

☎ 11:30～14:00 (火・水・金ランチタイム)
17:00～22:30 定休日 月曜日

住 中原区小杉町山崎ビル2F(イトーヨーカ堂前)
電話 044(711)8980 URL: http://kuririn.com

地元武蔵小杉で愛されて40年

9999 lafont. TALEX

当店のこだわりはWEBで

駅前通り商店街 **メガネのオーサカ**

川崎市中原区小杉町3-426
TEL: 044-722-4262

炭火焼き 仲

焼き鳥、一品料理、地酒

中原区小杉町3-258 石橋ビル1F
TEL 044-722-9833

営業時間 17:00～23:00
定休日 日曜、祝日

自分だけのために仕立てるといふ贅沢

本誌ご持参の方
オーダーズ特別優待券 **5%OFF**

〒112-0001 東京都港区赤坂
TEL 03-3463-1111

0120-72-2901 **仕事館**

TEL 044-711-2361

長〜く着て頂く為の品を！

ミセスの旅行・タウンウェアはおまかせ下さい。

こすぎ法政通り
レディースファッション **アラセ**

TEL 044-711-2361
定休日 日曜日

毎日のお買い物は、**武蔵小杉駅前通り商店街**へどうぞ

東急線の武蔵小杉駅南口から出れば、すぐ目の前の商店街です。

お店情報はWEBから
<http://musashikosugi.info/>

仮装 = 笑顔 × 笑顔の相乗効果

公式カメラマン「スーパーマ○オ」によるコスギフェスタ撮影記

2012年10月27日土曜日の朝、天候曇り。どことなく、いつもよりも人通りの多い歩道。イベントの準備に追われる人々が忙しく動いている各マンション前。外に出た私の目に飛び込んで来たのは、武蔵小杉の見慣れた風景ではなく、どことなくワクワクしてる感じが伝わってくる人々でした。

自マンションの企画はコミュニティ委員に任せ、公式カメラマンを拝命した私は、ファインダーを通してコスギフェスタを楽しむ人々を切り取る作業を開始しました。某有名ゲームのコスチュームを着ているせいか、知らない人にもたくさん声をかけられました。道の反対側から子供が叫んで呼んでいます。仮装ってすごい！早くも実感した瞬間です。

初回だった一昨年のコスギフェスタとは明らかに違ったのが、みなさんの「仮装率」。回を重ねるにつれ、大人も子供も仮装している人が本当に増えました。子供の仮装に情熱を注ぐお母さん、恥ずかしさ半分で仮装に挑戦したお父さん、全員でテーマを設定して「狙い」に行ってる家族など仮装といっても千差万別。オープニングステージが始まる前でしたが、イベントを中心に撮影した前回とは、違う1日になりそうな予感がこの時しました。

昼を過ぎて人出が増えると、予感的

中します。仮装率の高さとそのクオリティの高さに、すれ違うゲストのほとんどが撮影候補。カメラを向けると、ファインダーの中では満点の笑顔で微笑むゲストが、ポーズを決めていました。そう、仮装すると人は笑顔になるんです。少し恥ずかしいけれど普段の自分とは違う自分。みんな演劇の主役になったような、不思議な恍惚感を感じていたのかもしれない。いつも会う友達が、知り合いが、店員さんも、仮装をしています。自然と笑顔になる空気を肌で実感しました。大人は「なりたかった自分になれる1日」子供は「なりたい自分になれる1日」コスギフェスタのサブコンセプトがいつの間にか浸透しているのは嬉しい限りです。

考えてみれば「仮装をする体験」は海外ならともかく、日本で経験がないまま一生を過ごす人がほとんどなんじゃないでしょうか。非日常的な体験は、時間が経っても、その後の人生でも大きな思い出になるものです。コスギフェスタ以前であれば、武蔵小杉の再開発地区に住んでいたために地元のお祭りがなかった!という子供たちがたくさんいたでしょう。それが今では、毎年仮装ができる街になりました。とても大きな変化だと写真を撮りながら感じました。

ステージでも仮装して歌う人、演奏をす

る人、パフォーマンスする人など、仮装を軸に1日が進みました。本番の仮装コンテンツでは、前回であれば全員が優勝できるレベルのクオリティだと審査員も観客も感じたでしょう。そして多くの人がこう思ったはずですよ。「来年はどんな仮装をしよう」「あのアイデアはいいな」「あの仮装をしてみたい」

ご存じない方も多いかもしれませんが、川崎市は元々ハロウィンで有名な土地です。川崎の商業地区で開催される「カワサキハロウィン」は昨年で16回目を迎え、そのパレードには10万人を超える観衆が集まります。仮装のレベルも当然高く、街をあげてハロウィンを盛り上げています。武蔵小杉のコスギフェスタも将来その規模に成長し、また追い越すポテンシャルがあると私は感じました。それは、商業施設を中心に開催される本家と違い、コスギフェスタは地元住民が中心となって企画した、地元住民のハロウィンフェスティバルだからです。

今後、新しいマンションが竣工し、商業施設が次々とオープンしていく中で、それらの新しいエッセンスも加わり、コスギフェスタはどんどん成長していくでしょう。今後もコスギフェスタはもちろん、武蔵小杉の街が発展していく姿を様々な角度から撮り続けていきたいと考えています。

本平 基 (ほんだいら もとしい) 昭和52年東京都八王子市生まれ。某大学の工業意匠学科を経て、2000年より某メーカーのインハウスデザイナーとしてシール等のパッケージデザインを担当。2008年よりベンチャーのWeb制作会社に転職。Webサイトやスマートフォンアプリ、パンフレット等のデザインをする傍ら埼玉県内の幼稚園の指定カメラマンとして毎月のイベント撮影を行なっている。一昨年の第1回コスギフェスタでパンフレット制作に携わったことをきっかけにNPO活動に参画し、昨年の第2回コスギフェスタではアートディレクターとして、ポスターやパンフレット、公式サイトなどのデザインを担当。第4~5期パークシティ武蔵小杉ステーションフォレストタワー管理組合副理事長。



子供に撮ってもらった写真が上手くてびっくりしました...



— エリマネ新会員マンション —

エクラストワー武蔵小杉 25年の軌跡

武蔵小杉駅南口地区西街区再開発組合
理事長 **大野 省吾 さん**

— 今春オープンするエクラストワーは、基本構想から25年もの長い間、多くの人の尽力で出来た武蔵小杉再開発のシンボルともいえる複合施設です。今回の編集長インタビューは、開発の初めからこのプロジェクトの中心となって活躍されてきた大野省吾さんにお話を伺います。

— 大野さん25年間お疲れ様でございました。早速ですが、西街区再開発に携わった発足当時のことをお聞きしたいと思います。

「かねてから川崎市から『武蔵小杉の開発をしたい』と、私の父や刀根さん（現小杉三丁目町会長）のお父さんに要請がありました。先人たちは武蔵小杉を愛する気持ちで色々考えていたようで、私もその当時からお手伝いをしてきました。まず、武蔵小杉駅をはさんで東と西とで交流を図れたら良いという発想から始まりました。昭和63年に川崎市主導でコアゾーン研究会が発足し、平成5年に再開発推進協議会を設立。私は川崎市からの要望もあって同協議会の会長にあたり、地元の機運の盛り上げ役を引き受けることになりました。その後、平成11年に準備組合を設立し、そのとき東街区（三井不動産）と西街区に分かれました。そして、平成17年に西街区再開発組合が設立、平成21年より変電所地下工事が着

工し、その完成後、平成22年本体工事着工、平成25年2月に引渡しに至りました」

— 再開発で大変だと思ったことはありますか？

「それぞれ再開発に携わってきた人々は、同じ方向に向かって進んでいましたが、工事を進めるにあたり、障害物が見つかったり、電車等の交通機関に支障がないようにしなければいけないので気を遣うことがありました。また、再開発を進めていくことは町の活性化にはなりますが、私は再開発組合と商店街組合の両方を兼ねていたので、地元商店街との板ばさみになったことが苦勞といえ苦勞になります。新しい商業施設が増えればお客様は増えますが、地元商店街としてはお客様がそちらに流れてしまうという不安もありますから。実際、再開発が進み現実のものに近くなっていくと複雑な気持ちになったことは否定できませんね」

— エリマネとエクラストワーの関わりについてどうお考えになりますか？

「エクラストワーは組合施行の最初のマンションです。今までは、商店街と町会とも一緒にやってきたので、今後はエリマネが町会の代わりになってくれるような活動してほしいし、エクラストワーに住む方々は、一日も早く地元の人たちに溶け込んでほしいですね。何か行事をやろうとしたときにマンションの管理組合の考え方によって違いが出てくる可能性も

あるかもしれませんが、エリマネは『新旧の住民と仲良く交流していく』という立ち上げ当時のことを思い出してがんばってほしいです」

— 今後の武蔵小杉に期待することは何ですか？

「町が発展するにはこれくらい大きく変わった方が良いと思います。ただ、私は商売をやっているのでも、どうしても商売レベルで街というのを見てしまう。コアゾーン研究会でも商業レベルの話が多かったが、バブルがはじけた以降は、商業から住宅、マンションにシフトしていきました。今までの住宅中心の再開発ビルとは違い、西街区再開発ビルは、多くの商業施設（98店舗）が入った初めてのビルです。そのため武蔵小杉の中心になってほしいし、武蔵小杉も住宅だけでなく商業としても発展してほしいです」

— 25年間携わった西街区再開発組合の理事長の務めが終了しますが、今後はどのようにお過ごしになりますか？

「武蔵小杉の商業活動については若手を育成していき、若手にバトンタッチしたいと思っているけど、なかなか若手もないからなあ。先人たちが武蔵小杉を良くしようとがんばってきたことに感謝したいのでそれを若手に伝えていきたいです」

— 最後に今年の4月2日にグランドオープンしますが、今の率直なお気持ちは？

「それはやっぱり完成したといううれしさ、ほっとした気持ちかなあ。完全に肩の荷がおりたというか、もうおろさせてくれよというところ（笑）。正直な気持ちをいうなら再開発ビルができたことで自分のお店のことが心配ではあります」

— 長い間、本当にお疲れ様でした。また、今日はありがとうございました。



— インタビューを終えて —

大野理事長とは、平成14年から再開発組合を通じて知り合い、エリマネ設立時にも商店街の立場としてご尽力いただきました。また、同じうさぎ年であり、ふたまわり?ですかね。大野理事長にはお世話になりました。今回、まじめなインタビュー形式だったので今度はぜひお酒を飲みながら、本音トーク??で語り合いたいと思いますので今後ともよろしくお願いたします。(安藤 均)

エクラストワー 開発の歴史

安藤 均(聞き手)

NPO法人小杉駅周辺エリマネジメント副理事長。平成14年から準備組合の活動に参加、当再開発組合副理事長として一緒に携わってきた。一応、「こすぎの風」第3号編集長。色々な顔??をもち、場合によっては変身する?



大野 省吾 さん

昭和14年4月20日生まれ。昭和63年からこの再開発に関わり、再開発組合理事長の他に協同組合武蔵小杉商店街副理事長、武蔵小杉駅前通り商店街振興組合理事長、株式会社大寿(大野屋)会長を兼任。



平成23年7月時点



同12月時点



平成24年11月時点

エリマネ*活動報告

* エリマネとは・・・? 「NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント」(エリマネの正式名称)の主な活動は、エリアの会員マンションと周辺町会、商店街、そして行政の「橋渡しをすること」です。エリマネでは、イベントや様々な交流会、講演会などを企画していますが、これらは人と人を結ぶことを目標にして運営されています。言うなれば、エリマネは「人と人とをつなぐ橋」なのです。そして、人と人とが繋がっていく先にこのエリアの発展が開かれています。



重点項目

今年度は、「周辺地域との交流と協力関係を強化していく」という重点目標ののっとり、昨年までの事業展開を再考察し各活動に当たってきました。

特に、昨年10月のエリマネ主催の「周辺地域との交流会」では、「防災」をキーワードに、地域の防災の責任者の方と「一緒に何が出来るか」を考えるたき台にすべく、マンションの防災対策を実際に目で見てもらいました。また、同月末の「コスギフェスタ」では、上丸子、下沼部両小学校、中原中学校、住吉高校など地域の学校や地域と連携し様々なイベントを行いました。そして、今年2月の「防災フェス」では具体的な連携

をと考え、いざというときのトランシーバーによる情報共有のテストをしました。このようなマンションと地域を結ぶ活動は来年度も活動の柱としてとりおこなっていく予定です。

一方マンション間の連携という点では、「エリマネ連絡会議」を通して綱島街道跨線橋問題、東京機械製作所跡地商業施設への要望書の取りまとめ等を行い、行政、地域、デベロッパーへの働きかけを共同で行いました。今後は「マンション管理組合理事長懇談会(仮称)」を開催してマンション間のコミュニケーション強化を図り、「よりよいまちづくり」を進めていく予定です。

活動項目

- コスギフェスタ-地域を挙げての大イベント
- コスギぼうさいフェス-イベントを通じて防災を考える
- パパママパーク-子育て世代の親子同士のコミュニケーションスペース。非常に人気がありエリマネの活動の大きな柱となっている
- 地域清掃活動-清掃を通じてコミュニケーションを図る
- おしゃべり電話・相談-お悩み相談リピーターも多い
- エリマネ連絡会議-地域、行政の情報や活動の展開と要望等の検討
- ちいさな交流会-定期的に行われているミニ交流会
- こすぎナイトキャンパス-読書を通じたコミュニティの形成
- 親子、男前料理教室-料理を通じてのコミュニケーション
- 川崎フロンターレ共同企画-スポーツをキーワードにした活動
- 周辺地域交流会-周辺地域、行政の方々とのコミュニケーション
- マンション理事長懇談会-マンション同士のコミュニティ形成
- その他イベント-工場夜景ツアー、夜回りほか
- 広報活動-「こすぎの風」発刊、HP 運営、各マスコミ取材対応

収支報告

平成24年度 決算見込み(平成25年1月現在)

	収入	支出	収支
① 会費・寄付金	9,850,000		
② 広告収入	166,000		
③ 事業収入	2,300,000		
④ 事業支出		2,900,000	
⑤ 広報費用		1,300,000	
⑥ 一般管理費		6,600,000	
合計	12,316,000	10,800,000	1,516,000

③④事業別収支内訳

	収入(参加費・寄付金等)	支出(イベント経費等)	収支
パパママパーク	300,000	270,000	30,000
おしゃべり・電話相談	0	40,000	-40,000
早朝清掃	0	3,000	-3,000
交流会WG	350,000	350,000	0
コスギフェスタWG	1,650,000	1,630,000	20,000
防災WG	0	607,000	-607,000
合計	2,300,000	2,900,000	-600,000

①会費・寄付金内訳

正会員会費	283,000
賛助会員会費	440,000
管理組合会員会費	9,062,000
寄付金	65,000
合計	9,850,000

⑥一般管理費内訳

事務局運営費	4,900,000
備品・通信等	1,000,000
光熱費・清掃費等	600,000
雑費・その他	100,000
合計	6,600,000

新理事募集中!

来年度は会員マンションも増えます。エリマネも新しい一歩を踏み出していきます。やる気のある理事さんも募集中です。皆様、エリマネの活動に是非ご参加下さい。

エリマネ便り

故郷 小杉

NPOエリマネ理事長 松本等

朝日さす 軒端の雪も 消えにけり
我が故郷の 梅やさくらん

この機関誌「こすぎの風」を発刊する頃、唄のように降り積りし雪が春めいた日差しに照されだんだん解けて、いすれ梅の花もほころびはじめる(こすぎ)。

小さなお子さんがいすれ大きくなれば、我が故郷は小杉であると胸を張って話される時代がやってくるに違いありません。

その小杉駅周辺にも桜木が沢山あり、もつすぐに満開となる日も近いと思われまふ。小杉名物「花見市」も4月7日曜日と決定いたしました。K.S.G.48の川崎踊りも出演し、子供さん達の脳裏に焼き付けてほしいと願わざるを得ません。

私達の行っているエリマネ行事の沢山ある中で、地味で絶対必要であるというワーキンググループもあれば、こつこつとお祭りのように大変華やかに見えるものもあり、それぞれの特長を有しています。

2012年度も終りを告げようとしておりますが、皆様の御理解と御協力によりまして、エリマネ運営にもお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

もつ既に目の前に迫っております新年度も、より一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。



多摩川河川敷からの中原区パノラマ



武蔵小杉ライフより、多摩川からのパノラマ写真をお届けします

※こちらのURLまたはQRコードから、フルサイズの画像を見ることができます。是非ご覧ください!
<http://musashikosugilife.com/erimane.html>



第1号より「こすぎの風」の表紙に写真を提供してまいりました武蔵小杉ライフより、エリマネ会員の皆様に未公開写真をお届けいたします。まだ雪の残る、多摩川河川敷から撮影した中原区です。丸子橋を渡り、サイクリングコースをガス橋方面に移動していくと、武蔵小杉の再開発ビルのアングルがどんどん変わっていくのを楽しむことができます。第1号の表紙は東京高校付近から撮影したもので、タワーの間に富士山が綺麗に見えるお気に入りのスポットです。角度によってタワーが見え隠れしますので、お住まいの場所によってベストポジションは異なることでしょう。これから暖かくなってまいりますし、ちょっと散歩してみるのも良いと思います。

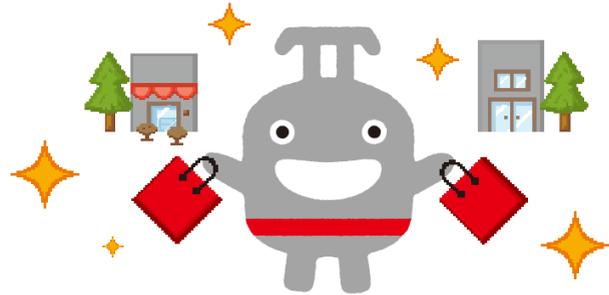
発行:  NPO法人 小杉駅周辺エリアマネジメント
Non-Profit Organization MUSASHIKOSUGI Area Management

川崎市中原区中丸子112番地3 TEL: 044-433-9180 (事務局) <http://musashikosugi.or.jp/>

こすぎの風3号スタッフ
発行人: 松本等
編集長: 安藤均
副編集長: 豊田浩人 / 保崎幸一
編集委員: 塚本りり
表紙写真撮影: 武蔵小杉ライフ
アートディレクション: 本平基
編集・デザイン: 高木ハル子
発行日: 2013年3月

To 小杉の方へ

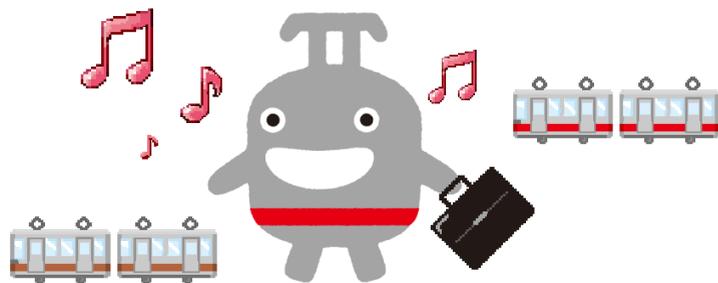
自由が丘 経路が
似合うね!!!



東急線キャラクターのるん

新宿・池袋方面へダイレクト。特急・急行も増発。

乗り換える時まで、
スマートだね♪♪



東急線キャラクターのるん

都内での地下鉄乗り換えがらくらく便利に。

3/16 東急東横線・東京メトロ副都心線の相互直通運転スタート。
通勤通学応援! 定期券キャンペーン実施中



移動を感動へ

Move Forward.

武蔵小杉
エリマネ会員マンション

限定のお知らせ!

特別キャンペーン
料金割引
業務手数料を特別割引
致します。

システム登録料
無料
通常 5,000円
(税別)

東急不動産グループの信頼と安心
リロケーション事業25年以上の経験と実績!

いざ貸す

POINT1

持ち家コンサルジュ

お客様のご要望を伺い最適なプランをご提案します。

転勤が決まった方
空き家をお待ちの方

POINT2

無料訪問査定!

「いざ貸す」サイトからお申し込みいただけます。

いざ貸す

POINT3

安心してお任せ
転貸システム

弊社が貸主となり面倒なことは一切引き受けます。
*物件によってはお引き受けできない場合もございます。

東急リロケーション

東急リロケーション株式会社(東急不動産株式会社100%出資) 日本賃貸住宅管理業協会会員 不動産流通経営協会会員

国土交通大臣(5)第5094号

TEL 044-711-3109

武蔵小杉営業所

〒211-0005 神奈川県川崎市中原区新丸子町921 明治安田生命小杉ビル7階(JR武蔵小杉駅北口徒歩1分)

皆さまのご要望をぜひ、お聞かせください。
ご来店をお待ちしております。

野村証券株式会社
武蔵小杉支店

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子13番地2
野村不動産武蔵小杉ビル N棟 (1F)

営業時間	
店舗	平日 9:00~16:00
電話受付	平日 8:40~17:10
ATM 利用	平日 8:00~21:00 土日・祝 9:00~18:00

TEL 044-330-3200(代)

野村証券 武蔵小杉支店 (野村不動産武蔵小杉ビル N棟 1F)

JR 横須賀線 武蔵小杉駅 新南改札口 徒歩3分

それ、野村にきいてみよう。